

# English Garden 第33話

"The poor must know that we love them."

Mother Teresa

「私たちが愛していることを、貧しい人びとに知ってもらわなければなりません」

マザー・テレサ

スラムの聖女 (Saint of the gutters) として慕われたマザー・テレサ (本名アグネス・ゴンジャ・ボヤジュ Agnes Gonxha Bojaxhiu) が1979年にノーベル平和賞を受賞したときの挨拶です。彼女が受賞した数々の賞金は、すべて貧しい人びとのために使われました。

マザー・テレサが亡くなったのは9月5日、ダイアナ元英皇太子妃のお葬式の前日で、世界中がこの「悲しい偶然」に衝撃を受けました。マザーはダイアナさんの急逝を悼み、7日には特別な祈りを捧げる予定だったということです。福祉活動に積極的だったダイアナさんはマザーを深く尊敬し、その活動を模範として数回彼女のもとを訪れ、よい友人となっていました。英国カトリック教会のヒューム枢機卿は、次のように嘆いています。

「ダイアナさんと親しかったマザー・テレサがこんなに急に旅立ったのは、彼女と一緒に  
なるためだと考えれば慰めになる」

"It is rather lovely to think that Mother Teresa,  
who was very friendly with Princess Diana,  
should have gone so soon to join her."

"Newsweek"



マザー・テレサはまだシスター (修道女) だったころ、家が貧しくて学校に行けないスラムの子どもたちを教えて、マザーと呼ばれるようになりまし。その後彼女は「貧しい人の中でも最も貧しい人びと」に奉仕するため「神の愛の宣教者会」を創立 (1950年)、そのとき総長をマザーと呼ぶことが決まって、正式にマザー・テレサとなったのでした。なお、男子の修道士はブラザー、聖職についた神父などはファーザーと呼ばれます。

マザー・テレサの行動を支えたのは、キリストの愛の教えに基づく人間への深い愛でした。次に彼女がモットーとしたキリストの言葉をいくつか紹介します。

「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である」

ヨハネによる福音書15章12節

"This is my commandment, That ye love one another, as I have loved you."

「隣人を自分のように愛しなさい」

マタイによる福音書22章39節

"Thou shalt love thy neighbour as thyself."

「全財産を貧しい人びとのために使い尽くそうとも、

誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、

愛がなければ、わたしには何の益もない」

コリントの信徒への手紙13章3節

"And though I bestow all my goods to feed the poor,  
and though I give my body to be burned,  
and have not charity, it profiteth me nothing."

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つはいつまでも残る。

その中で最も大いなるものは、愛である」

コリント信徒への手紙13章13節

"And now abideth faith, hope, charity,  
these three; but the greatest of these is charity."

(ダイアナさんの葬儀では、この13章全文がブレア首相により朗読されました)